

製品名: MARH9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13647**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	MARCH9 RNF179
別名	
遺伝子 ID	92979.0
SwissProt ID	Q86YJ5
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

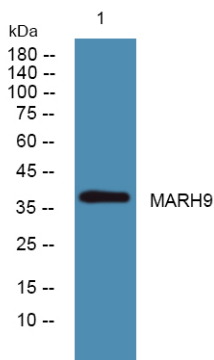
MARCH9 は、膜結合型 E3 ユビキチンリガーゼ (EC 6.3.2.19) の MARCH ファミリーのメンバーです。MARCH 酵素は、基質タンパク質中の標的リジンにユビキチン (MIM 191339 参照) を付加し、それによって膜コンパートメント間の小胞輸送を誘導します。

MARCH9 は、いくつかの膜糖タンパク質の内在化を誘導し、それらをエンドソーム区画に誘導します (Bartee et al., 2004 [PubMed 14722266]; Hoer et al., 2007 [PubMed 17174307])。[OMIM 提供、2010 年 4 月],ドメイン:RING-CH 型ジンクフィンガードメインは、E3 リガーゼ活性に必要です。機能:MHC-I、CD4、および ICAM1 のユビキチン化を媒介し、それらの後続のエンドサイトーシスと、多小胞体によるリソソームへの選別を促進する E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。E3 ユビキチンリガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素からチオエステル形でユビキチンを受け取り、標的基質に直接転移します。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: 1 つの RING-CH 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット: ホモ二量体。組織特異性: 普遍的に発現する。、

研究分野

-

画像データ



K562 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、MARH9 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩